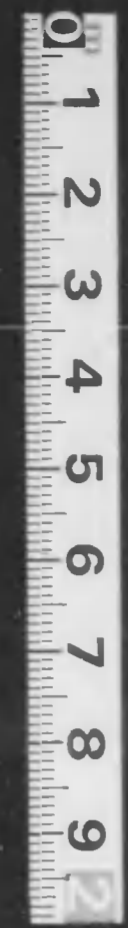


週寫眞報

編輯部報情閣内
ンセ十・號七廿第・日七十月八

昭和十三年八月十七日發行 (每週一隔水曜日發行) 第七號





鏡後に築く

藤村 康

写真新聞社 撮影

養育組合を組織して、村の発展を多角化に力して、主眼の村、海軍の子供達



富國徴兵

一、我社の提供する徴兵保険と出世保険は、趣旨と仕組と利廻りに於て、眞に理想的貯蓄であります。

二、現在百七萬人を突破する坊ちゃん嬢ちゃん方が御加入せられ、契約高八億五千餘萬圓を擁し、斯界の最高位にあります。



富國徴兵保険相互社會



開墾防除のボルドー散布も、共同作業で行はれる。一人の設備り努力を計算し、農事実行組合から七人づつ職員して交替で行ふ。

農事実行組合の組織は、左の如き実績を挙げつゝある。

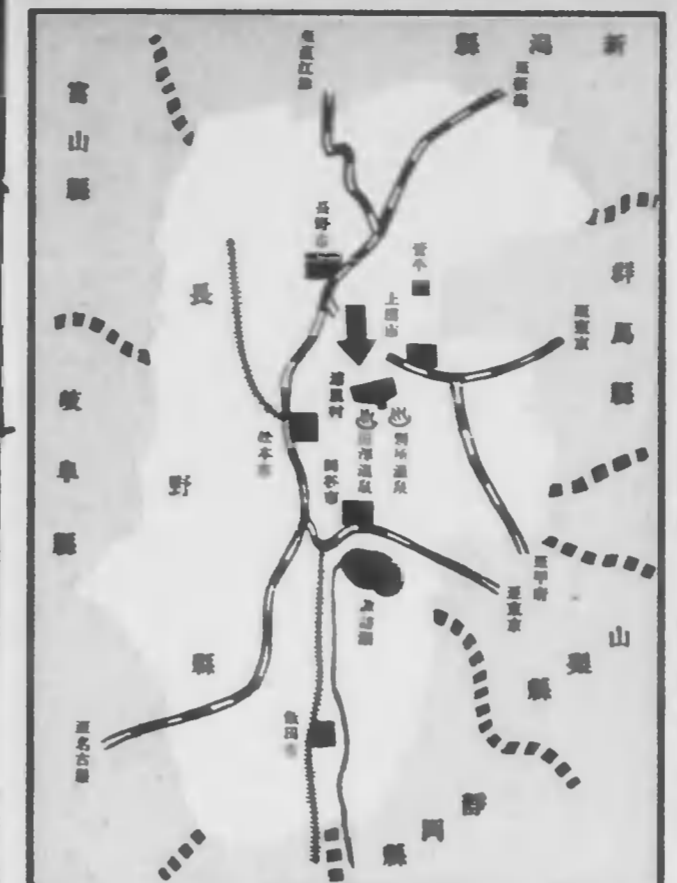
年度	組合員数	耕作面積	肥料消費	農具消費	雑草防除	共同作業	その他
昭和十一年	111	1,000	100	50	100	100	100
昭和十二年	111	1,000	100	50	100	100	100
昭和十三年	111	1,000	100	50	100	100	100
昭和十四年	111	1,000	100	50	100	100	100
昭和十五年	111	1,000	100	50	100	100	100
昭和十六年	111	1,000	100	50	100	100	100
昭和十七年	111	1,000	100	50	100	100	100
昭和十八年	111	1,000	100	50	100	100	100
昭和十九年	111	1,000	100	50	100	100	100
昭和二十年	111	1,000	100	50	100	100	100

入組の比較的貧しい農家を以て組織され、たとへば、増産設備に要する各個人の農業資金は、連帯責任をもつて組合そのものに、村又は、産業組合から貸出される。即ち、富農の信用と責任をもつて、個人として資金借入の能力の無い貧農が、十分増産設備を施すことが出来、個人の一つの水車を越えた財力は、全組合員に公平に分配される。伴つて、窮乏のどん底に呻吟することになった。この村民の不安状態の波に乘つて浦里村に浸透した。

昭和五年以来、本村青年補習学校の内容を一新して、農業期以外は、全村青年が、学校に宿泊して、思想更新を企圖した。昭和十年青年学校と改稱すると同時に、その内容をより豊富にして、新時代を要する精神、教育、知識を系統的に獲得する施設をとのへ、極度の節約の高度階級が要求される村農業経営を、青年の手で完成すべく、本村農業試験場の役員も兼ね、各種農事試験施設優良品種の採種園を併設し、尚、牧畜舎、鶏舎、畜舎、堆肥舎、改良住宅を建設し、本村農業、戸平均面積を算してこれを浦里青年学校に更生させ、と命名し生徒を三名宛給付交代に宿泊させ、専任教師指導の下に、その経営に當らせ、將來村の各戸に約束される理想的經營を身付けてゐる。

中心勢力としての青年層教育
昭和五年以来、本村青年補習学校の内容を一新して、農業期以外は、全村青年が、学校に宿泊して、思想更新を企圖した。昭和十年青年学校と改稱すると同時に、その内容をより豊富にして、新時代を要する精神、教育、知識を系統的に獲得する施設をとのへ、極度の節約の高度階級が要求される村農業経営を、青年の手で完成すべく、本村農業試験場の役員も兼ね、各種農事試験施設優良品種の採種園を併設し、尚、牧畜舎、鶏舎、畜舎、堆肥舎、改良住宅を建設し、本村農業、戸平均面積を算してこれを浦里青年学校に更生させ、と命名し生徒を三名宛給付交代に宿泊させ、専任教師指導の下に、その経営に當らせ、將來村の各戸に約束される理想的經營を身付けてゐる。

事業の進展に伴ひ、出征兵士は〇名を數へ、更に軍需品の購買、軍需労働力の吸収等により、農業期に於ける農業労働力の不足を来たす見通しの下に、勤勞奉仕組の組織、共同作業の奮闘奮力運用、改良農具の使用、既設所の充實を企圖全村労働力の配分合理化計画を立案し、尚、村農業に「事業費費二千圓」を計上し、更に、農會、農業組合、軍人後援會、社會事業協會等の費額四千圓を統合して協同力の強化を圖り、その精確な調査を基礎にした、出征遺族の努力不足補充及び共同耕作への全村労働力配分は、概然として行はれ、何等支障を來してゐない。たとへば、軍人家族全戸につき調査の結果、畜産、養蚕、田圃、除草、秋の收穫等の農業期に於ける不足努力は四三日、延人員一三九三人、耕作不能地一町八反四畝となるので、これに對し、一戸當り六四人の部活奉仕隊を編成し、尚、労働力を要求する三反四畝に對しては、共同耕作する等、その明確な計畫化は注目し得る。



長野縣小縣郡浦里村



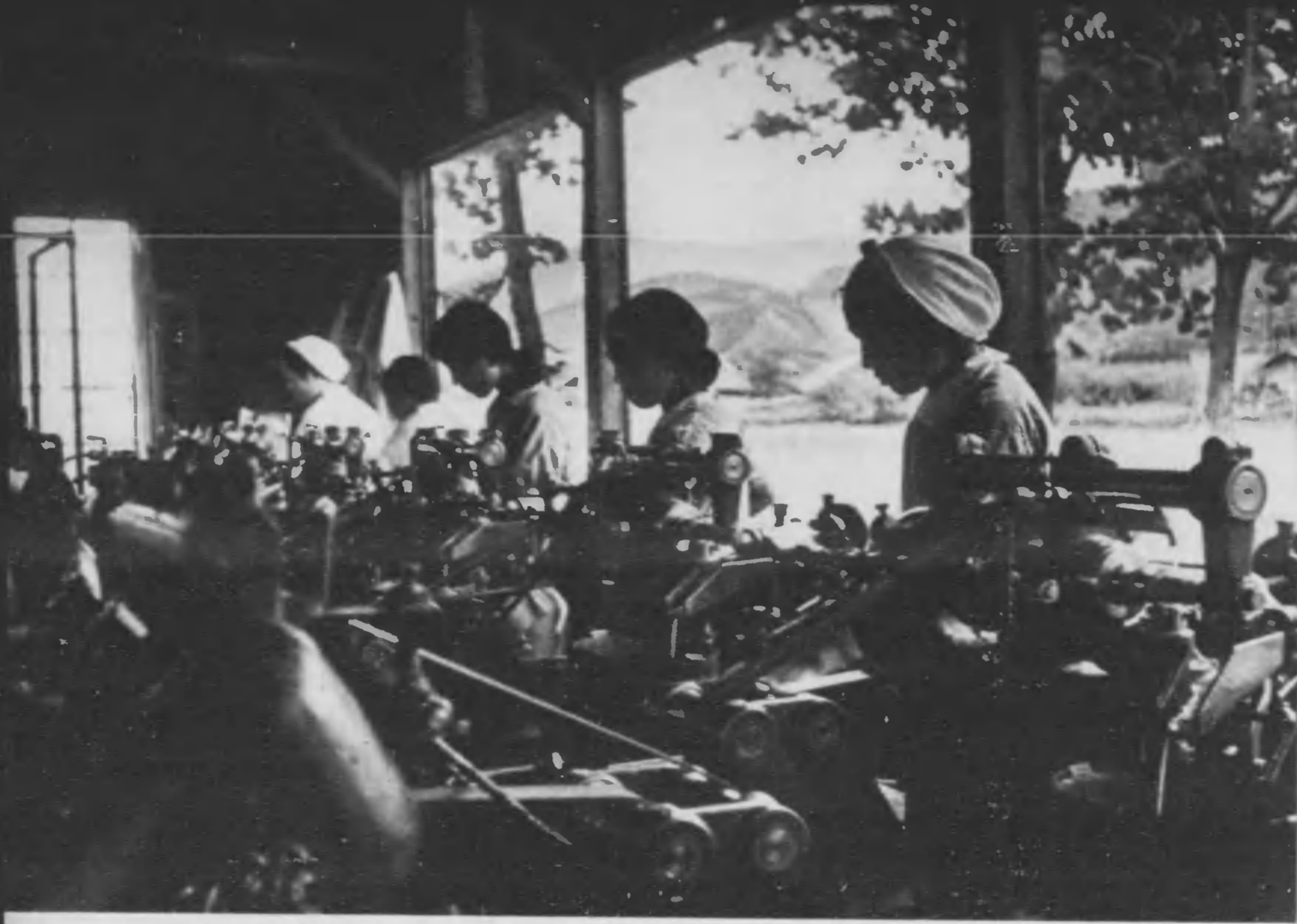
浦里村の概況

階級闘争主義の擡頭とその結果
従つて過去の同村農家の確信は悉く喪失に依存して居り、桑畑は全耕地の六割を占め、食糧その他の農産物は村内の消費を満たすに足りなかつたが、大正七八年以降農家一戸當りの養蚕収入は一千圓以上一千五百圓を算するに至り、農業經營は著しく放漫に流れ自給自足の生活は終つた。昭和五年の農業恐慌に依る桑畑價の暴落は甚大な打撃を與へ、この結果、村民に依つて設立された浦里銀行、倉庫株式會社は破綻し村民は一瞬して、窮乏のどん底に呻吟することになった。この村民の不安状態の波に乘つて浦里村に浸透した。

浦里村の概況
長野縣小縣郡浦里村は、上田市から南へ二里十町、江戸時代は中仙道の宿場として、宿屋、料理屋が軒を並べたが、交通機関の發達、養蚕業の勃興から、漸次農業に轉換、現在全戸数の九一は農業を營ふ農家は一割に過ぎない。人口は四一三七、戸數六六四戸で、内、自作は、自作二九戸、自作兼小作二七五戸、小作一六〇戸で、兼業別に居ると、専従四六九戸、専従兼五二戸となつて居り、また、商工戸數九〇戸、その他六四戸となつて居る。その内、官公吏職員二二戸、商工従業者七戸等である。土地は、官有地二七二、五町歩、民有地九〇八、七町歩で、その中、桑畑が二六五、七町歩、田、一五六、六町歩、畑、一五、五六町歩の解放如何か、土地減少の浦里村農業多角化に重大な關係があり、又食糧自給化に向つて、如何に耕作段別の低い水田、畑を開墾してゆくかが現在、土地問題解決の中心になつて居るのである。

全體主義に對する
この渦中にあつて、農民組合の影響下にある村民の數たる非難をうけながら、敢然と農民組合運動の誤れる方針に反對、唯一人協力を叫ぶ村長宮下周氏の心境には悲壯なものがあった。敵と罵られたからでも、二、四事件で掃蕩された青年連の公理には進んで特別辯護人として出廷、源泉共に下る熱誠を凝らして、起訴書類を駁撃、或は、破綻に瀕し、あつた農業組合再建の爲に、一銭貯金をしよう、と村の婦女子一人一つを説いて歩く等々、彼等安全な行き詰つた浦里村農家の窮一切の部をかかりを捨て、僅かに自分を支拂はせられる一歩青年と共に、一身を村に捧げることを、村民の信望は當然としてあつた。村長の熱意に依つて農民運動の闘士達は體面と意向、不屈の恩義が下つて闘つた。村民は悦んでこれを受け、彼等も又感激、村再建への協力を堅く誓つたのであつた。かうして、偉大な指導者宮下周氏を中心にかつて浦里全村をその指導下に置いた浦里青年と、農民組合運動にあくまで對立した皇道日本主義の青年は、かつちりと腕を組んで、そのプラン・トラストとなり、指導者は、青年の科學的改進黨方針をよく受け入れ、青年の力を尊重し、青年は宮下氏の人格を敬愛し、全體主義の旗の下、強力な指導者をもつた浦里村が、村民一致更生の闘い、巨歩を踏み出したのは昭和七年であつた。

全面的計畫化へ
先づ村更生の第一歩として、革新の土壌となる村構の徹底の編成を進行し、協同組織を確立すると共に、村政、村經濟、村教育、あらゆる構の全體主義的統制化革新化に邁進した。



人口過剰の対策として設立された大下リル工場には、三十人の若き農村女性が働いて居り、悪名家族、貧困家庭に優先権が與へられ、製品は東京に送り出される。この他男子のゲイヂ製造工場が隣接して建てられてゐる。



青年こそ、新時代の推進力だ。その磨かれた科学的理論、燃えさかる熱情は、如何なる障害も征服してゆく。よき指導者は、青年に聴き、青年に學ぶ。村長を中心に、浦里村建設方針を討議する青年委員会。



田圃に囲まれた農村工業の工場に、溝切機は唸り、新世紀の農村女性は興とハンドルを握る。洗練された指ひの制服も革新の農村工場にふさわしく、機械の裡に光る。



桑園の一部を田に變へつつある浦里村は、先づ水が欲しい。貯水池建設による二毛作收穫へ！食料の自給化へ！労働奉仕動員計畫に従つて飯をふる学生隊、かうして工事は決定通り、熾然とすゝめられてゆく。

小學校生徒並に青年學校生徒に今後經營の高度化が要求される本村の、農家經營の高等技術を鑄造させると共に浦里村の試験場として施設された青年學校附屬農場。

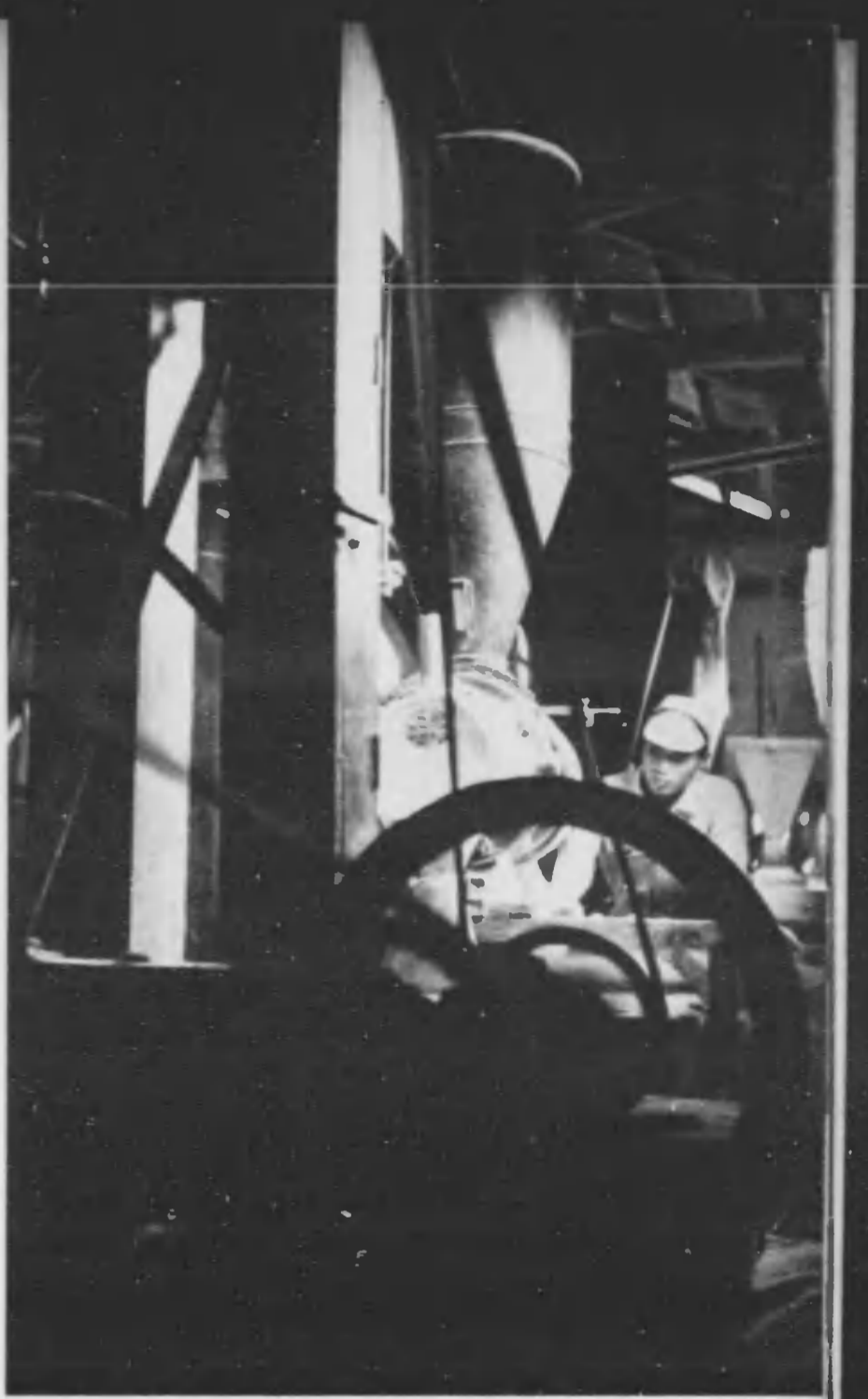




おまつの自給化
 は村の産女會、主婦會の仕
 事だ。青年學校にパン焼
 を設け、兒童にパン食を興
 へる他、農事實行組合が互
 互に連絡をとり、日をお
 めて、パン菓子を作つてゐ
 る。



主要食料の自給化と、
 養蠶、養蚕、運送、機織
 加工、織物工業の多角經
 營合理化は、浦里村建設
 の目標である。青年學校
 附屬の家畜小屋で、将米
 全村に飼育すべき種羊を
 世話する女子青年團員。



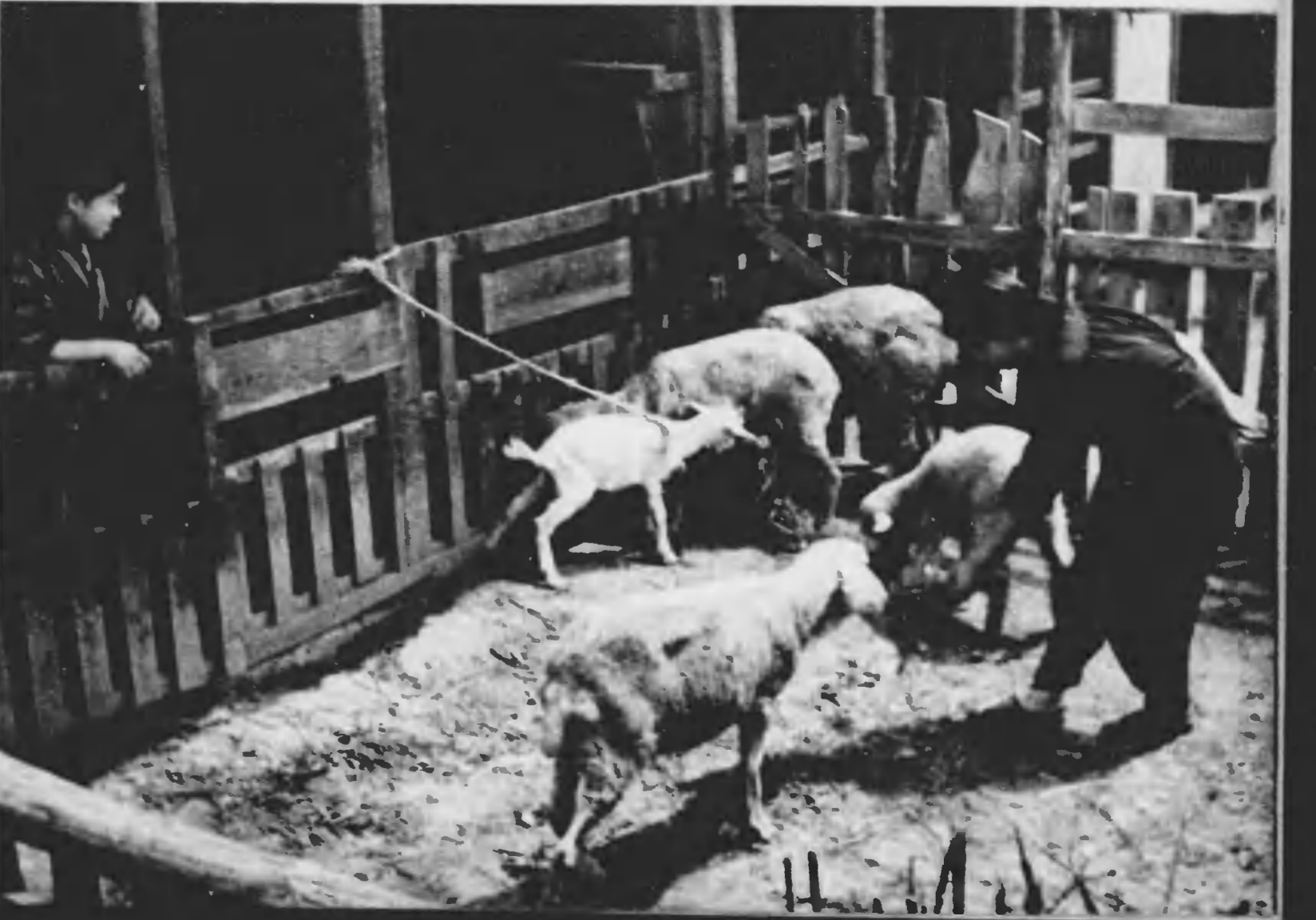
一時破産に瀕した産業
 組合は再建され、今では、
 村經濟運轉の中心となり
 計畫經濟の線に沿つて、
 配給、消費、販賣、購買、
 等々村經濟建設のあらゆる
 面で、活潑な活動をして
 いる。産業組合内の精
 米工場。



青年の自給化
 浦里村の青年は、村の支
 持を得て、村内にある料理
 店に自給化の中心となつた。
 然し、村では、増産、風
 習の養蚕に依る犠牲者を、
 轉業させるとか、その子女
 を工場に收容するといふ方
 法で、十分対策を講じてゐ
 る。



昭和五年の農村恐慌で破産した
 養蠶業は、長い間そのまま風
 雨にさらされてゐたが、轉向青
 年が協力一致その土台を起し開墾
 して、今では約一町歩の見事な水田
 に化してゐる。



てし胃を天荒日七月八
行舉會大泳競體團離距長

口キ十間海熱—島初



「天荒浪何ぞや、敢然決行
 ときまれば水の猛者勇躍スタ
 トライオンにつく。折から突
 び来たる大雨に、目ざす熱海
 は横断とかすんで見えぬ。」

鉄道の蒸気水を泳で示さうといふ
 伊豆初島と熱海間十キロの海を泳破
 する第一回長距離離島競泳大会は、
 日本水上聯盟主催、厚生省、海軍省
 静岡縣後援の下に八月七日荒天の怒
 濤を切つて舉行され、遠征の佐世保
 鎮守府海兵チームが天晴海の子の榮
 譽を擡つて優勝した。

この日、全国から大会に参加した
 チームはすべて二十九、十三歳の少
 年選手から四十七歳の老選手まで總
 勢百四十五名、早朝出發地の初島に
 勢揃ひをすれば、夜來の荒天は史餘
 の土用波を捲き起し、雨さへ加つて
 最悪のコンディションではあつた
 が、敢前上陸レースともいふべきこ
 の日の大会は、かうした荒天にこそ
 最もふさはしいとはかり、午前九時
 二十分全選手は敢然スタート、時化
 れば最後こつちのものど水兵さんチ
 ームが強引の先陣を承れば、少年チ
 ームも負けるものと躍り込む。

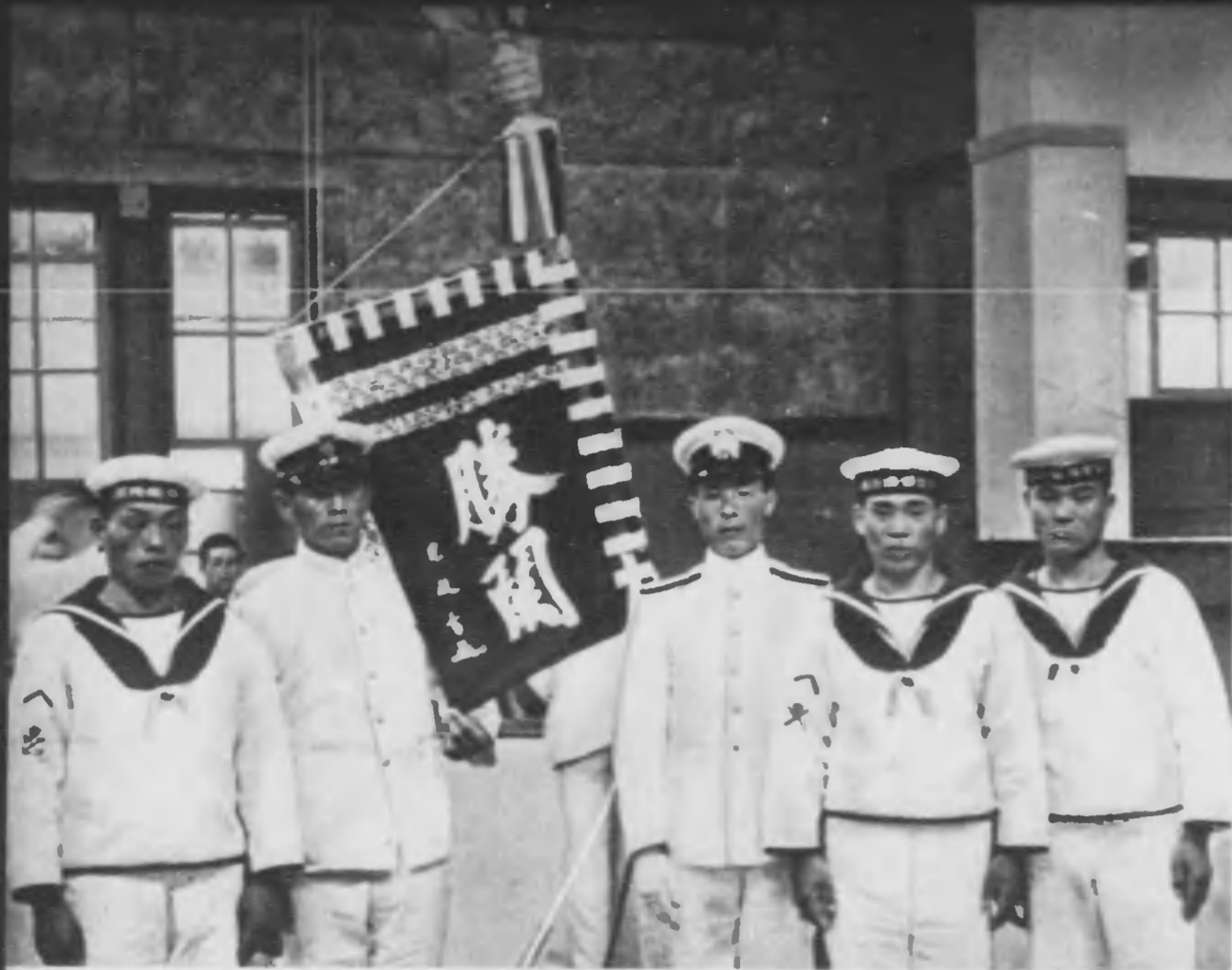
四キロ、五キロ、一時間、二時間
 指導船をも覆へさんばかりの怒濤を
 破つて、選ばれた海の子たちはたゞ
 懸命の力泳、しかし、ブルで襲へ
 た少年たちはコンディションがあま
 りにも悪く、コースの大半を泳ぎ切
 るころ、無念の棄伍者を續出したが
 流石に日頃支海護の荒浪を鍛へた佐
 世保鎮守府海兵チームの頑張り物更
 く、海軍の第一線に立つ面目を
 全うして午後四時半、十キロ三時間
 二十三分四秒の記録を以て見事ボー
 ル熱海海岸に到着した。夏に鍛へる
 海の子に榮あれ。



「托兒所の完備によつて、始めて農村労働力の高度化、合理化が約
 束される。浦里村托兒所には毎日七十五人の児童が托され、農繁期
 には、女子青年團の臨時保母さんが、倍加する托兒を護り、村民は
 安心して農事に全力をうちこんでゐる。」



「ボク等の村長さん一をかこんで嬉々と戯れる子供達。どの顔も、
 健やかに明るく、未來の光をたいへてゐる。すくすくと伸び育て、
 全體主義の子供達！君達が、逞しき青年として成長する時、浦里
 村！そこには、全日本の理想が、輝かしき實を結ぶであらう。」



優勝の佐世保鎮守府海兵
 隊は五人の内指揮官山口中
 尉は、このほどまで北支隊
 で活躍、松下三等兵曹は開
 戦に奮戦、右手に貫通銃創を
 うけ、木須一等水兵は上海戦
 線の敵前上陸に参加、南支隊
 戦時に負傷して、いづれも最近
 快癒した勇士だ。海軍大臣が
 褒賞した。海軍旗が勇士たち
 の上に輝く。

スタート直前初島の海岸に
 ウォーミングアップする水兵
 さんチーム、日頃荒浪に鍛へ
 たこの鋼の腕をみよ、脚を見
 よ。



撮影 同盟通信社

十キロの荒浪を越え始トツプ
 をきつて泳ぎ切り、ゴールに
 とびこんだ佐世保鎮守府海兵
 チーム。玉藻の怒濤に比べれ
 ば大したことはありませんよ！
 と余裕録々たるたのもしさ。



ゴールの熱海海岸に勇士の到着今キホ
 そしと待つ人々。
 この日この壮舉を見んものと全国から
 集つた二萬を超える人々が前日から待機
 してゐたのだ。

チームは五人、一人が指揮船に乗つ
 て指揮、他の四人が一團となつて十キロ
 を泳ぎ切るのだ。この内一人でも落伍す
 れば失格となる。こゝに敵前上陸レース
 ともいはれる特色がある。いよいよ
 スタートラインにつく各チーム。



夏 季 診 療 奉 仕

東京女子醫學專門學校 衛生校専門専修女子

東京女子醫學專門學校では、文部省の奨励する、学生夏季診療奉仕運動の輪に沿って、七月二十二日から八月四日まで十四日間、江東地区、及び學所在地地区にわたって、特設診療奉仕運動を展開した。その中、無料診療奉仕運動は数年前から同校の社会奉仕として例年行われてきたものであるが、今年には診療奉仕運動といふ新しい意識が加へられ、幅広い下層生活と直接結びつき、實際を通じて社会的對策を導き出した。この運動は、その科学的であるが、未だ初期にある、学生の診療奉仕運動に、大きな示唆を與えたといふことが出来る。

又、醫學的にも、競争に依る、競争不自由者が多数出たつる現状に鑑み、診療不自由者の調査、診療研究を中心眼としたことは、將來その分野に要求される醫學的療法に感へる準備工作として、時宜に適した試みといふことが出来る。

診療設備は、學校、診療所の各種設備を動員し、生徒は、診療の傍へ、各家庭を訪問して、患者を求め、色々な調査に全力を盡したものであった。そして、十四日間の診療奉仕運動は、左の如き、順じき結果を呈して、荒川地区の、心からなる感謝のうちに無事終了したのである。

患者取扱数
 内科・二五二二人、小児科・一六九四人、眼科・三四三人、耳鼻科・二九二人、婦人科・七三三人、皮膚科・一九四三人、外科・九五九人、検査部・六三人、計一四一三人。
 調査検査用探便器配布部七〇〇部、内、検査用器七六八部、衛生保潔者四五〇人。
 診療不自由者調査人員一三二二人、中、タリヤベニ患者七六八人、合計二八二五五名、診療。

この間、生徒達は、全く生活様式の違ふ人々の中にあつて、すべて生活的的な生活方をしてある人々の意志の表現の現つばに驚き、一間に三家族も住んでゐる生活を目のあたりに見て、生活に對する一つの眼をひくなど、將來、醫師といふ職業に對するべき所謂「生きた學問」をしたことは、此度の診療奉仕運動の内容をより豊富にしたと言へる。

どの子供も、汗もの「より」と、「飛火」の皮膚病にかかつてゐる。ちよつとした衛生保健の手當が出来ない人々。診療科を當てながら、この子も、あの子も、先づ皮膚科にやらなければと考へる。

やはりトラホームが多い。老婆の眼をあらひながら、ふと、整形外科の友達から聞いた、一部屋に数家族も住んでゐるといふ情景を思ひ浮べた。病氣は、不潔な生活の中に潜むのだ。若き醫師の眼が、段々社会的にひらいてゆく。



「早く診ておくれよ。」生活に忙しい江東の人達は挨拶こそ武骨だが、その眼は感謝に輝いてゐる。診療の後方にのぞかれる生活。若い學生の、眼鏡がキラキラと光る。

ここは、診療奉仕奉仕の屯所、荒川第二狹田小学校だ。若き女醫師は、白衣姿も頼もしく、けいも、江東民衆を健康の敵から護つてやるのだ。

撮影 菊地雙三郎



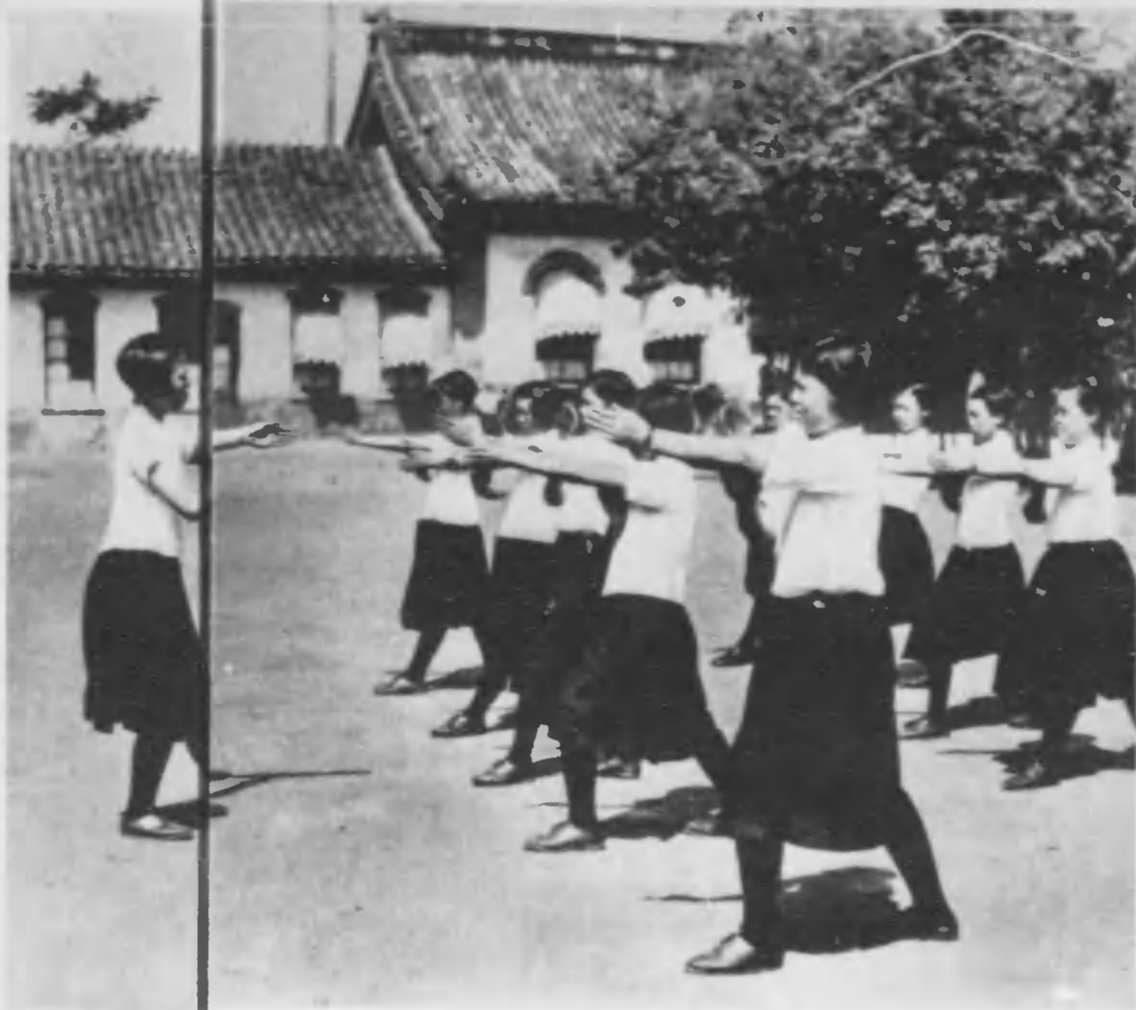


署長の訓示を受ける真顔な眼。天晴れ安寧秩序をまもる女戦士だ。

規律は大切だ。制服につける所持品の点検。

寄宿舎をみて朝晩の體操にも、烈々たる新民精神の氣魄をこめて。

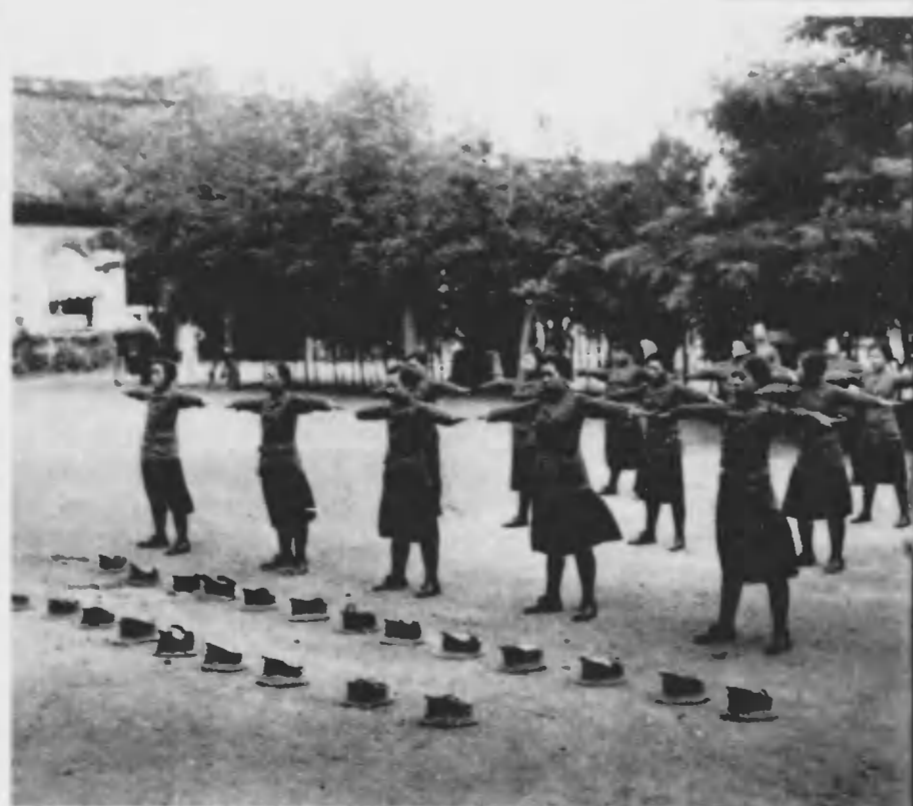
北京女巡査



目下五十名の女性巡査が起居を共にしてゐる北京警察局の正門

炎天下、男子に劣らぬ教練の時間

治安をまもる巡査とあらば、腕もきたへねばならぬ

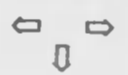


去年十二月、北京に臨時政府が成立して、華北の地に新らしい開拓の息吹が吹きかえり、八月、この開拓の旗の下で、若々たる青年が活躍の場を求め、かつては多量の難民が押し寄せた大々たる、今ではすっかり明るい生活の場、家々をとりどし、北京へ、北京へと新故の中心地を打つて、来る人々の熱い心を打つて、北京停車場にだれを打つてある。そしてこの停車場には、けりる北京市公署警察局長の女巡査の婦人巡査五人、おもしろくも和やかな北京の海軍風景の一つであらう。

撮影 内閣情報部



新興北京の停車場や城門を出入する良民の中に混つて、女といへども和平権を築する赤化分子や不逞分子が潜入しようとするので油断は出来ない。こつこつと所々で女子通行人の荷物を検査するのが彼女たちの主要任務である。キビ／＼としかも優しい女手とあらば無事の民衆も心なやむであらう。

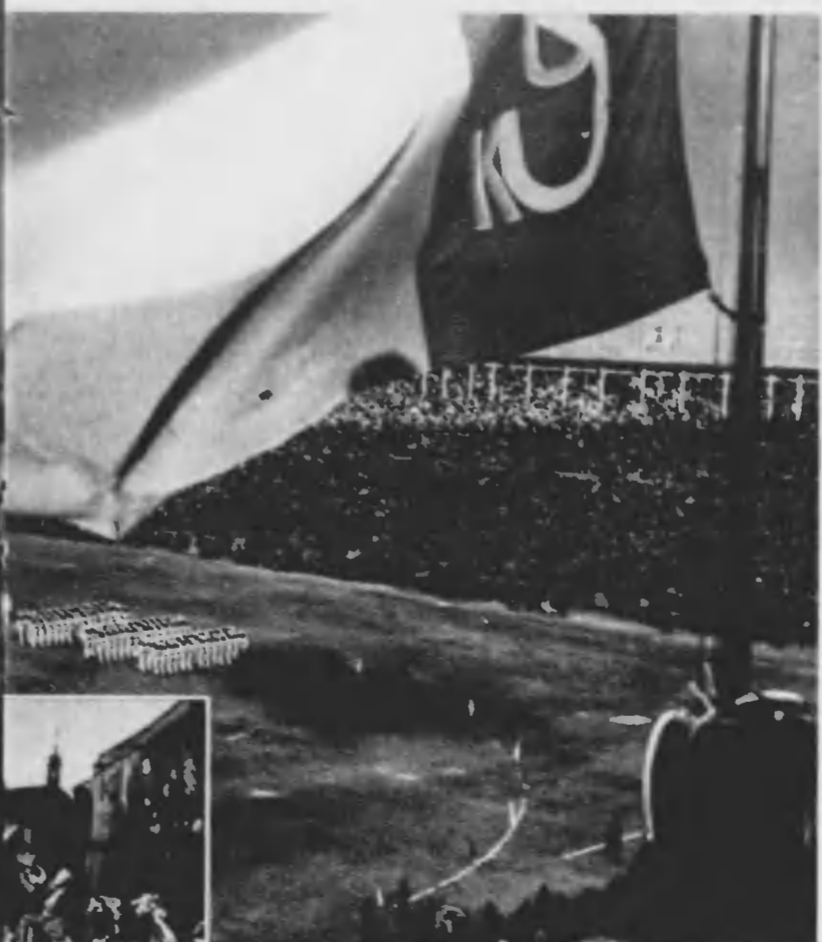


隊長より服装の点検を受ける女巡査隊。きりりと制服に身を束めれば心も緊まる。



一小隊演習と交替出勤





彼等の 方

同盟通信社

国民のパンは充
分・イタリーの
牧種

ムツワリニ首州は七
月四日ボンチニア開墾地
の最初の打穀式に臨み、
イタリー国民のパンは
充分保障されてゐる、オ
メ／＼金持國に救ひを求
めると多額の農民を前に
農産物自給自足の然解を
ふるひ、因作のためイタ
リイは飢饉に陥してゐる
とのデマを粉砕した。

フランスの
ランス大寺
院竣工

全フランス・カトリッ
ク信者特望のうちに巨費
をもつて建立中であつた
ランスの大寺院は遂に七
月九日完成、アルベル
ル・プラン大統領親臨の下
に開院式が行はれ、善男
善女は、そり立つ壮麗
な御堂とジャンヌ・ダ
ルクの像の前に感泣した。

無電附の新型
成層圏飛行機

カール・リツチといふ無名の一
技術家によつてこの程新案の成層
圏飛行機が發明され、歐洲シドニ
イで公開された。特長は右ひざの
ポケットにラチオがひそめられて
ゐること、五萬呎の上空から地
上と手紙に連絡出来ることといふ。

チエツコの
國民體育大會

中欧の小國チエツコスロヴァキ
アがその獨立性を確保するには先
づ國民の體位向上からと體育大
會が故マサリツク大統領によつて
提唱されてからすでに十年首脳
リーグではマサリツク廣場で今年
も大々的にソコール大會が開かれ
民族意識を高揚した。



スキスの子供の
花まつり

スキスの首府ベルンの小供たちが
特に待つた恒例の美しい花まつり
一年も三千人の子供がいちいち
な花にちなんだ衣裳をつけ華やかな
市中行進に移りキルチエンフエルト
の橋のたもとで、賑やかな野外劇が
くり展開された。

パレスチナ騒擾
依然つゞく

英國治下パレスチナにおけるアラ
ビア人とユダヤ人との抗争はその後
依然解決の見通しつかず、兩民族の
間にはなほ血に染られた市街戦が
處々行はれており、難民の英軍隊
も手をきいてゐる不穏な形勢であ
る。寫眞は警戒出動の英國陸軍。



経済朝食!



従来のオートミールの様に牛乳・砂糖を用いる必要なく、早に七八分間煮沸するだけで美味しいオートミールが即席に出来るのが本品の特長です



明治三ツオクト

明治製菓株式会社

内閣情報部編輯

週報

國策のパンフレット

内閣印刷局發行
所 込 申
東京各書局・東京各書店・東京各書局・東京各書店

毎水曜日發行

印刷局宛申請下さい

定費

一部五錢
年相(前金)
三圓十錢 (要送料)

カ	読
メ	者
ラ	の

作品

その後の厦門
廈門全圖新日報社

その後の厦門 抗日の暴風雨を呼んで二月、夏生厦門は抗日の大旗をかざして一萬五千島民待望の中に治安維持会が成立、去る七月十五日は新生厦門を祝する官民一致の炬火行進を執り行われ、この日官民ともに熱誠をこめて「上」の古蹟遺跡を歩み、光明化に拍車をかけた。



京都でも動勞奉仕
京都市上京區 出雲路敷和

京都東山の靈山官報社出身の若手志士を合組して、労働奉仕を促進するため、京都府内各地に奉仕隊を組織した。この奉仕隊の労働奉仕は、七月十一日から一週間に亘り、流汗淋漓感に身を投じて、古都八坂の塔影を背景に、奮闘の若人に榮えられた。

寫眞募集規定
本誌は「寫眞週報」の一助にもと考、出来る限り紙面を開放し、読者の手による、優秀な寫眞を待つてゐる。題材は内外陸海、職業、例へば、田舎にも、或は工場、家庭、學校など、何處に在る、或は、國民精神、勤勞、或は、季節、或は、白い組合せなど、何でも構はず。一枚の寫眞でも、枚数を問わず、サイズはキヤリ以上、掲載の分には、返却又は記念品を贈呈し、掲載は當部に属するものとす。連作は當部に属するものとす。内閣情報部

寫眞の佛骨御入來
長野市 酒井勝太郎

友邦運轉から歸られた佛陀の御遺骨は七月二十四日長野市に到り、善光寺保存會理事長に捧持され、駐日運轉副公使夫妻、長野縣知事、市長、佛陀関係各團體代表者、一山僧侶等の出迎を受けて、厳かな佛陀入をした。佛陀の教へを道し日運轉善光寺は沿道にはためく佛陀と共に、信濃善光寺にくり渡されたのである。



所 込 申	定 額
寫眞週報配送部 東京市豊島区内町二丁目 電話四三三三	一年(前金)四圓八十錢 (外埠郵料十錢) (送料)
全国各地官報販賣所 東京市豊島区内町二丁目 電話四三三三	一ヶ月分未済配送部宛の方 は一十錢の割合を以て 前金を添へ、御申込み下さい
各地新聞販賣所	
寫眞材料店	

昭和十三年八月七日印刷發行
發行所 内閣情報部
印刷所 大日本印刷株式会社
加賀町一ノ二番地

寫眞週報 (寫眞週報)

その上に、新時代の知性を閃めかし、その筆に革新の熱情を凝りしめ、飛躍日本の先頭に立つ、信州浦里村の青年勤勞奉仕隊の活躍を描く。内閣情報部

本誌第二十五號發表「寫眞週報」(週報)合同ゴスター工業會贊助集作發表中佳作兵庫縣安保供一とあるは東京市五島治雄の撰



水 泳
徒 歩
ラヂオ體操
武 道
勤 勞 作 業

國 民 心 身 鍛 鍊 運 動

寫真週報 昭和十三年三月十七日 第三種郵便物認可 昭和十三年八月十七日發行 (編輯 國水曜日發行) 第廿七號

(本書の大きさは横切規格A4・「週報」特刊)